

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

15:01

1/12
様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23425報)

2022年 4月 8日 14時 45分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [4月8日11時0.0分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 4月7日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 4月6日、7日] ・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 3月1日、2日、4月5日、7日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日 4月7日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクDの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、4月9日に排水を実施します。 排水開始・終了の裏績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 4月4日] <p>【公表区分: その他】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事象該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/12

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2022年4月8日 11:00現在

【重要事項】
各計測器については、異常やその後の正常化履歴の発生を問わず、異常の発生履歴発生を
検出しているものを含む、正しく検出されておらず異常の発生が検出されていない、検
出された異常を修正するために、このように計測器の作動が正常化しないまま、検
出された異常が正常化しないまま計測器が正常化しないまま計測器が正常化しないまま

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.4 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (4/8 11:00 現在)	給水系: 1.8 m ³ /h CS系: 0.0 m ³ /h (4/8 11:00 現在)	給水系: 1.7 m ³ /h CS系: 0.0 m ³ /h (4/8 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 14.1 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 13.4 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 13.5 °C (4/8 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 21.7 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 23.5 °C (4/8 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 20.6 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 18.3 °C (4/8 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HMH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 13.5 °C HMH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 13.5 °C (4/8 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 22.3 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HMH2-16B (TE-16-114G#1): 22.3 °C (4/8 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 20.2 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 18.1 °C (4/8 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.07 kPa g (4/8 11:00 現在)	3.37 kPa g (4/8 11:00 現在)	0.45 kPa g (4/8 11:00 現在)	
窒素吸入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm ³ /h (RVH-B): 15.42 Nm ³ /h (JP-A): 14.06 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (4/8 11:00 現在) ※4	RPV-A: 6.54 Nm ³ /h RPV-B: 6.59 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (4/8 11:00 現在) ※4	RPV-A: 8.40 Nm ³ /h RPV-B: 8.61 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (4/8 11:00 現在) ※4	
原子炉格納容器 ガス管理システム 非気流量	20.5 m ³ /h (4/8 11:00 現在)	17.86 Nm ³ /h (4/8 11:00 現在)	21.01 Nm ³ /h (4/8 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (4/8 11:00 現在)	A系: 0.08 vol% B系: 0.08 vol% (4/8 11:00 現在)	A系: 0.18 vol% B系: 0.17 vol% (4/8 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射線強度 Xe135) ※2	A系: 指示値 8.28E-04 Ba/cm ³ 係出限界値 3.60E-04 B系: 指示値 6.86E-04 係出限界値 3.40E-04 (4/8 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 係出限界値 1.3E-01 B系: 指示値 ND 係出限界値 1.3E-01 (4/8 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 係出限界値 1.9E-01 B系: 指示値 ND 係出限界値 ND (4/8 11:00 現在) ※6 ※6	
使用済燃料プール 水温度	19.3 °C (4/8 11:00 現在)	18.2 °C (4/8 11:00 現在)	- °C (4/8 11:00 現在) ※5	
FPC 注水ノック 水位	4.15 m (4/8 11:00 現在)	3.61 m (4/8 11:00 現在)	- m (4/8 11:00 現在) ※6	

【計測器の異常事項】
※1: 原子炉格納容器内の水素濃度を測定する。水素濃度が規定値を超えると、格納容器内の水素濃度を測定する。
※2: 原子炉格納容器内の放射線強度を測定する。放射線強度が規定値を超えると、放射線強度を測定する。
※3: 原子炉格納容器内の窒素吸入流量を測定する。窒素吸入流量が規定値を超えると、窒素吸入流量を測定する。
※4: 原子炉格納容器内の非気流量を測定する。非気流量が規定値を超えると、非気流量を測定する。
※5: 使用済燃料プール内の水温度を測定する。
※6: 使用済燃料プール内の水位を測定する。

3/12

2022年4月8日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (V)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2022/04/07 07:53	< 4.2E+00	< 5.3E+00	< 4.3E+00
プロセス主建屋北東	2022/04/07 08:35	< 4.6E+00	< 4.1E+00	< 4.2E+00
プロセス主建屋南東	2022/04/07 08:30	< 5.0E+00	< 4.5E+00	< 5.6E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2022/04/07 08:15	< 4.5E+00	< 3.8E+00	< 4.8E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2022/04/07 08:20	< 4.8E+00	< 3.3E+00	2.3E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2022/04/07 08:10	< 4.1E+00	< 3.5E+00	< 4.7E+00
サイトバンカ建屋南東	2022/04/07 08:25	< 4.5E+00	< 5.4E+00	< 4.2E+00

・検体毎の半減期: I-131(約8日), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不符号 (<: 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・〇・〇E±〇とは、〇・〇×10^{±〇}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

4/12

2022年4月8日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一原子力発電所

構内排水路 分析結果 (全β・H-3・Y)

採取地点	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/04/06 07:50	4.5E+00	< 8.6E+00	< 3.5E-01	2.2E+00
物揚場排水路	2022/04/06 07:55	4.5E+00	9.0E+00	< 5.6E-01	< 6.7E-01
K排水路	2022/04/06 06:00	9.3E+00	9.2E+01	< 5.8E-01	7.3E+00
BC排水路	2022/04/06 06:00	2.0E+01	< 8.6E+00	< 5.0E-01	1.5E+01
5,6号機排水路 ^{※1}	—	—	—	—	—

・核種の半減期：H-3(約12年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
 ・不等号 (<)：小なり)は、検出限界値未満 (ND)を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
 ・O.OE±Oとは、O.O×10^{±O}であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
 ・採取当日の降雨量は0 mm
 ・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。
 ・H-3以外は既にお知らせ済み。
 ※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

5/12

2022年4月8日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/04/07 08:00	4.7E+00	< 8.0E-01	3.4E+00
物揚場排水路	2022/04/07 08:05	3.5E+00	< 4.5E-01	1.3E+00
K排水路	2022/04/07 06:00	5.8E+00	< 7.0E-01	4.0E+00
BC排水路	2022/04/07 06:00	< 2.7E+00	< 4.6E-01	2.5E+00
5,6号機排水路 ^{※1}	—	—	—	—

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。
- ・(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
- ・採取当日の降雨量は2 mm
- ・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。
- ・※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

6/12

2022年4月8日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	その他検出核種					Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)
			Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)				
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.0-3-2	2022/04/07 09:03	< 1.5E+01	< 2.2E-01	< 3.1E-01	< 3.2E+00	< 9.9E-01	< 2.9E-01	< 4.2E-01	-	
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-9 ※1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

核種の半減期: Mn-54(約10日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sb-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

不等号 (<: 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

0.0E±0とは、0.0×10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と示す。

※1 No.1-9は、排水路による採取であるため、測定は実施せず、全βは参考値として別途に測定。

7/12

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	分析項目					Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	塩素 (ppm)
			その他γ線放出核種	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)			
1号機汚水処理タンク 汲み上げ水										
No.2	2022/04/07 08:55	2.3E+02	< 3.6E-01	< 4.4E-01	< 3.0E+00	< 1.3E+00	< 3.8E-01	< 3.8E-01	4.4E-01	
No.2-2	2022/04/07 08:51	1.6E+02	< 1.1E+00	< 1.5E+00	< 1.2E+03	< 5.3E+00	1.7E+00	1.7E+00	4.3E+03	
No.2-3	2022/04/07 08:43	2.5E+04	< 2.7E-01	< 2.1E-01	< 2.3E+00	< 1.0E+00	< 2.7E-01	< 2.7E-01	2.2E+00	
No.2-5 ※2										
No.2-6										
No.2-7										
No.2-8	2022/04/07 08:25	2.7E+03	< 3.0E-01	< 3.7E-01	< 2.4E+00	< 1.0E+00	< 3.1E-01	< 3.1E-01	1.8E+00	
2号機汚水処理タンク 汲み上げ水										
No.3	2022/04/07 08:12	3.1E+02	< 2.9E-01	< 3.4E-01	< 3.3E+00	< 1.2E+00	< 3.5E-01	< 3.5E-01	9.0E-01	
No.3-2	2022/04/07 08:20	5.0E+02	< 1.3E+00	< 1.7E+00	< 1.4E+01	< 3.9E+00	< 1.2E+00	< 1.2E+00	3.7E+00	
No.3-3	2022/04/07 08:30	1.7E+03	< 4.0E+00	< 5.5E+00	< 5.5E+01	< 1.8E+01	< 5.9E+00	< 5.9E+00	1.3E+02	
No.3-4	2022/04/07 08:05	< 1.5E+01	< 5.9E-01	< 7.7E-01	< 6.7E+00	< 2.3E+00	< 6.9E-01	< 6.9E-01	3.1E+00	
No.3-5 ※2	2022/04/07 08:00	2.0E+01								2.5E+02
3号機汚水処理タンク 汲み上げ水										

・検出限界の半減期: Mn-54(前31日), Co-60(約5年), Ru-106(約170日), Sb-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不検出 (<: 小振り) は、検出限界未満 (ND) を意味する。

・測定対象外および検出停止の項目は「-」と記す。

・O.O.E±Oとは、O.O×10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+03は3.1×10³で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※2 No.2-5, No.3-5は、検出率による検出であるため、信頼性は未定です。全βは参考値として記録に限定。

8/12

2022年4月8日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(1/2)

観測地点	採取日時	分析項目										塩素 (ppm)		
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他放射性核種				
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	2022/04/05 08:12	2.1E+04	3.3E+04	< 2.7E-01	< 3.3E-01	< 3.6E+00	< 1.4E+00	< 3.5E-01	< 3.2E+00	< 1.4E+00	< 1.4E+00	< 3.5E-01	3.2E+00	-
No.1-6	2022/04/05 07:43	6.0E+04	< 9.9E+01	< 2.5E+01	< 2.7E+01	< 5.4E+02	< 2.8E+02	5.2E+02	1.6E+04	< 2.8E+02	< 2.8E+02	5.2E+02	1.6E+04	-
No.1-8	2022/04/05 08:50	9.8E+03	3.8E+03	< 1.5E+03	< 1.6E+00	< 1.9E+01	< 9.2E+00	6.9E+00	2.1E+02	< 9.2E+00	< 9.2E+00	6.9E+00	2.1E+02	-
No.1-9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-11	2022/04/05 08:55	1.9E+01	8.5E+02	< 3.1E-01	< 3.5E-01	< 2.7E+00	< 1.0E+00	< 2.7E-01	2.0E+00	< 1.0E+00	< 1.0E+00	< 2.7E-01	2.0E+00	-
No.1-12	2022/04/05 07:52	1.1E+03	2.0E+04	< 9.6E-01	< 1.1E+00	< 1.9E+01	< 9.6E+00	1.2E+01	3.6E+02	< 9.6E+00	< 9.6E+00	1.2E+01	3.6E+02	-
No.1-14	2022/04/05 07:47	4.1E+04	6.4E+02	< 3.5E-01	< 2.8E-01	< 3.6E+00	< 1.3E+00	< 4.0E-01	2.0E+00	< 1.3E+00	< 1.3E+00	< 4.0E-01	2.0E+00	-
No.1-16	2022/04/05 07:59	1.8E+04	3.5E+02	< 2.9E-01	< 3.5E-01	< 5.5E+00	< 2.9E+00	3.9E+00	1.3E+02	< 2.9E+00	< 2.9E+00	3.9E+00	1.3E+02	-
No.1-17	2022/04/05 08:20	6.9E+04	4.2E+03	< 3.0E-01	< 1.9E-01	< 2.7E+00	< 1.1E+00	< 3.4E-01	1.9E+00	< 1.1E+00	< 1.1E+00	< 3.4E-01	1.9E+00	-

検査日の半減期: H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sr-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

不検出 (<: 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

測定対象外および検出中止の項目は「-」と記す。

O.OE±0とは、0.0x10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1x10¹で31, 3.1E+00は3.1x10⁰で3.1, 3.1E-01は0.31x10⁰で0.31と読み。

H-3以外には既知と比較済。

※1 No.1-9は、取水器による採取であるため、YU値は参考値として別途に測定。

9/12

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目										塩素 (ppm)
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他放射性核種		
1,2号観測ポイント 汲み上げ水	2022/04/05 08:45	1.5E+05	1.6E+09	< 7.9E-01	< 4.5E-01	< 8.9E+00	< 2.9E+00	< 9.3E-01	5.4E+00	-	-	-
No.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-5 ※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2,3号観測ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3-5 ※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3,4号観測ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- 検出限界値: H-3(約12年), Mn-54(約10日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sr-125(約30年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 - 不等号 (<: 小値) は、検出限界未満 (ND) を表す。
 - 測定対象外および検出中の項目は「-」と記す。
 - O.O.E.とは、 0.0×10^0 であることを示す。
 (例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で 31 , $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で 3.1 , $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で 0.31 と読む。
 - H-3以外の項目は既に告知済。
 ※2 No.2-5, No.3-5は、採水部による採取であるため、判定は省略す。全項目は検査としてその後に行なわれる。

2022年4月8日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Sr・Y・塩素)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)	その他γ線放出核種					Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)
					Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Y-91 (Bq/L)			
No.1	2022/03/01 07:34	2.6E+04	3.1E+04	2.5E+04	< 3.3E-01	< 3.4E-01	< 2.7E+00	< 1.2E+00	< 4.8E-01	5.1E+00	—	
No.1-6	2022/03/01 07:06	9.2E+05	1.3E+03	5.6E+05	< 4.8E+01	< 4.5E+01	< 1.9E+03	< 1.0E+03	7.7E+03	2.3E+05	—	
No.1-8	2022/03/01 07:50	9.0E+03	4.3E+03	7.8E+03	< 1.4E+00	< 1.3E+00	< 2.1E+01	< 1.1E+01	1.1E+01	3.8E+02	—	
No.1-9 ※1	2022/03/02 07:25	1.5E+01	6.5E+02	1.2E+01	—	—	—	—	—	—	8.1E+01	
No.1-11	2022/03/01 07:41	2.6E+01	8.6E+02	1.2E+01	< 3.4E-01	< 3.5E-01	< 3.2E+00	< 1.2E+00	< 3.4E-01	1.7E+00	—	
No.1-12	2022/03/01 07:19	6.9E+02	2.3E+04	2.9E+02	< 6.5E-01	< 6.7E-01	< 1.3E+01	< 6.3E+00	7.2E+00	2.1E+02	—	
No.1-14	2022/03/01 07:02	2.4E+04	1.2E+04	2.2E+04	< 3.2E-01	< 2.6E-01	< 2.9E+00	< 1.2E+00	< 3.7E-01	5.6E+00	—	
No.1-16	2022/03/01 07:14	2.5E+04	1.4E+02	2.5E+04	< 3.4E-01	< 2.9E-01	< 5.8E+00	< 3.3E+00	6.5E+00	2.0E+02	—	
No.1-17	2022/03/01 07:27	5.5E+04	2.7E+02	5.4E+04	< 3.9E-01	< 4.8E-01	< 3.8E+00	< 1.5E+00	< 4.7E-01	7.0E+00	—	

・核種毎の半減期：H-3(約12年)、Sr-90(約29年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.E±Oとは、 $O.O \times 10^{O.E}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・Sr-90以外は既にお知らせ済み。

※1 No.1-9は、取水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値として事後に測定。

10/12

11/12

2022年4月8日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/04/07 08:44	—	< 5.7E-01	< 5.4E-01
1F 6号機取水口前	2022/04/07 08:37	< 1.5E+01	< 5.2E-01	< 4.3E-01
1F 物揚塔前	2022/04/07 07:53	< 1.5E+01	< 4.7E-01	< 5.1E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/04/07 08:10	1.8E+01	< 6.0E-01	5.0E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (遠水壁前)	2022/04/07 08:15	< 1.5E+01	< 8.9E-01	1.1E+01
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/04/07 09:07	1.3E+01	< 6.7E-01	< 6.7E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/04/07 06:43	< 1.3E+01	< 6.1E-01	< 4.6E-01
1F 港湾中央	2022/04/07 06:39	1.7E+01	< 4.2E-01	< 4.8E-01
1F 港湾内東側	2022/04/07 06:41	1.7E+01	< 3.2E-01	7.4E-01
1F 港湾内西側	2022/04/07 06:37	1.6E+01	< 3.1E-01	< 3.3E-01
1F 港湾内北側	2022/04/07 06:35	2.0E+01	< 3.0E-01	< 3.0E-01
1F 港湾内南側	2022/04/07 06:45	1.2E+01	< 3.2E-01	< 3.5E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
告示濃度限度 ^{※1}			6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年); Cs-137(約30年)
 ・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
 ・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
 ・物揚塔前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。
 ※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
 (別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])
 ※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2022年4月8日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目				
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他 γ核種
一時貯水タンク (サンプルタンク)	D 2022/04/04 08:35	1,150	東京電力 東北緑化環境保全(株)	< 1.6E+00	7.0E+02	< 5.9E-01	< 6.5E-01	検出なし
				4.3E-01	7.7E+02	< 6.4E-01	< 5.4E-01	検出なし
				3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	検出されないうこと※2
					6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	
					1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	
適用目標								
告示濃度限度※3								
WHO飲料水水質ガイドライン								

・核種の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界未満 (ND)を表す。

・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134,Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないうこと(天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度【本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載】)

12/12

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

15:01 1/3

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第23426報)

2022年4月8日14時45分

内閣総理大臣、原子力規制委員会、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第12993報他でお知らせした、地下貯水槽周辺の観測孔において全ベータ放射能が上昇した事象、及び第13274報他でお知らせした、地下貯水槽i南西側及び北東側の漏えい検知孔水において全ベータ放射能が上昇した事象について、下記のとおり水の分析を実施しましたので、お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地下貯水槽(周辺観測孔)分析結果 [採取日 4月7日] 地下貯水槽(ドレン孔・検知孔・海側観測孔)分析結果 [採取日 4月7日] <p>今回の分析結果は、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。</p> <p>引き続き、地下貯水槽周辺の監視を行うとともに、全ベータ放射能が上昇した原因を調査していきます。</p> <p>【公表区分：D続】</p> <p>※添付の(有り)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/3

2022年4月8日

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

地下貯水槽（周辺観測孔）分析結果（全β）

採取地点	採取日時	分析項目	
		全β (Bq/L)	
地下貯水槽 周辺観測孔 (i~iii)	A1	2022/04/07 08:55	2.5E+01
	A2	—	—
	A3	—	—
	A4	—	—
	A5	—	—
	A6	2022/04/07 08:49	< 2.0E+01
	A7	—	—
	A8	—	—
	A9	2022/04/07 08:43	< 2.0E+01
	A10	—	—
	A11	—	—
	A12	2022/04/07 08:36	< 2.0E+01
	A13	—	—
	A14	—	—
	A15	2022/04/07 08:31	2.3E+01
	A16	—	—
	A17	—	—
	A18	2022/04/07 09:02	< 2.0E+01
	A19	—	—

・不等号 (< : 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・ $O.OE \pm O$ とは、 $O.O \times 10^{*O}$ であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で 31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で 3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で 0.31 と読む。

3/3

2022年4月8日

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

地下貯水槽（ドレン孔・検知孔・海側観測孔）分析結果（全β）

採取地点		採取日時	分析項目	
			全β (Bq/L)	
地下貯水槽 (ドレン孔水)	i	北東側	—	
		南西側	—	
	ii	北東側	—	
		南西側	—	
	iii	北東側	—	
		南西側	—	
	vi	北西側	2022/04/07 08:00	< 2.2E+01
		南東側	2022/04/07 08:09	< 2.2E+01
地下貯水槽 (漏えい検知孔水)	i	北東側	—	
		南西側	—	
	ii	北東側	—	
		南西側	—	
	iii	北東側	—	
		南西側	—	
海側観測孔	②	—	—	
	⑦	—	—	
	⑧	—	—	

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・ $0.0E\pm 0$ とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

15:01

1/2

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23427報)

2022年 4月 8日 / 14時45分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要 (注2)	(対応日時, 対応の概要) 第8137報他でお知らせした、1号機放水路上流側立坑においてCs-137の濃度が上昇した事象、及び第10182報他でお知らせした、2号機放水路上流側立坑において全ベータ放射能及びトリチウム濃度が上昇した事象について、1号機及び2号機放水路立坑水の分析を実施しましたので、以下のとおり報告します。 ・1号機、2号機放水路 分析結果 [採取日 4月6日] 今回の分析結果については、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。今後も監視を継続していきます。 【公表区分：その他】
その他の事項の対応 (注3)	※添付の(有り)・無し なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2022年4月8日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一原子力発電所推進カンパニー

1号機, 2号機放水路 分析結果

採取地点	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機放水路立坑水	上流側	5.6E+03	< 1.1E+02	1.6E+02	4.6E+03
	下流側	2.3E+03	4.3E+02	1.8E+01	6.1E+02
2号機放水路立坑水	上流側	1.1E+03	< 1.1E+02	2.0E+01	8.3E+02
	下流側	6.4E+01	< 1.1E+02	< 5.4E+00	2.8E+01

・核種の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 ・不等号 (<: 小なり) は、検出限界未満 (ND)を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
 ・O.OE±Oとは、O.O×10^{±0}であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

2/2

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

17:25

様式 0-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23428報)

2022年 4月 8日 17時20分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	<p>(対応日時、対応の概要)</p> <p>第23422報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクCに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水開始 : 10時09分 ・排水終了 : 16時24分 ・排水量 : 934m³ <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応 (注3)	なし

※添付の有無 (無し)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

23:34

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23429報)

2022年4月8日23時28分

内閣総理大臣、原子力規制委員会、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 大野 公輔
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字大沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 本日22時58分、既設雑固体廃棄物焼却設備(A)のパーナユニット周辺から軽油が漏れていることを協力企業作業員が発見しました。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見時刻 22時58分 ・発生場所 発電所構内 既設雑固体廃棄物焼却建屋 ・発見者 協力企業作業員 ・漏えい範囲 防油場からあふれている油 約0.4m×2m×1mm ・漏えい継続の有無 漏えい箇所近傍の弁を閉止することにより漏えいは停止 ・双葉消防本部への連絡時刻 23時14分(119番通報) <p>現在、現場状況を確認しており、状況が分かり次第お知らせします。</p> <p>【公表区分:C】</p> <p>※添付の有リ・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事象該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。